



奴隷騎士

成人
18 For Adult Only

奴隸騎士



.....

コイツ！

ハッ

しぶとい女だぜ！
悲鳴すら
上げやしねえ

ガッ

ガッ

ガッ

せー

せー



…無駄だ
この程度で
私の心は
折れたりなどしない!

な なにい〜
小生意気なア!

よおろし
ならもう一発食ら!

うぎ



なんだい
ドグラの旦那
もう諦めちまうのか?

うるせエ!

だったら
この囚人
俺がもらっても
いいよなー?

ケツ
勝手にしやがれ!



…フフンッ
懐かねえ犬だぜ!
ブランウェンの方が
よっぽど使いモンにならあ

は



…そりゃどーも

下等なゴブリンめ



クロイツ辺境伯の嫡男
アルフォンスクロイツ

騎士姫アンネロッテ
と呼んだ方がいいか？

…いやー



領地を潰された
復讐とはいえ

たった一人で
このガイノス城に
乗り込んでくるとはな
無謀にもほどがあるぜ



アレか
騎士の誇りってやつか？

だ…だまれ
貴様に何がわかる！



ああそうだな…
だがお前も
分かつちやいない

なに…

自分の立場さ

カッ

いくら虚勢を張っても
今のお前には
何もできやしない

!?

この豊乳じゃあ
男を装うのは
少々無理があるぜ？

さ・触るなっ

どうした小刻みに
震えているぞ？

騎士団にいたくせに
男慣れしていないのか



なら当然
こっちも
新品ってワケだ

その反応を見ると
ろくに自分で
触ったことも
ないようだな

素直に従え アンネロツテ
でなければお前は
調教を受けることになる

この牢獄の中で
ずっとな

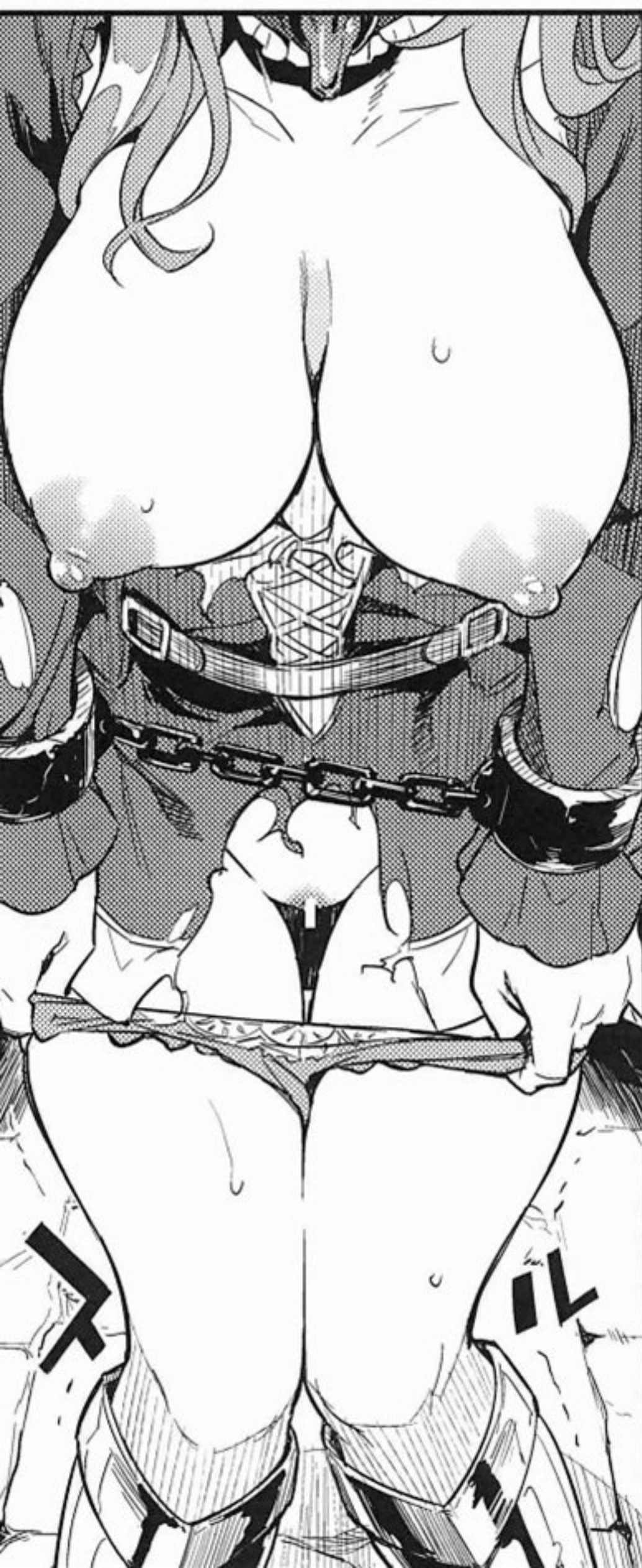
拒めば余計に
感じやすくなるぞ？

私は

や..
やめろッ！

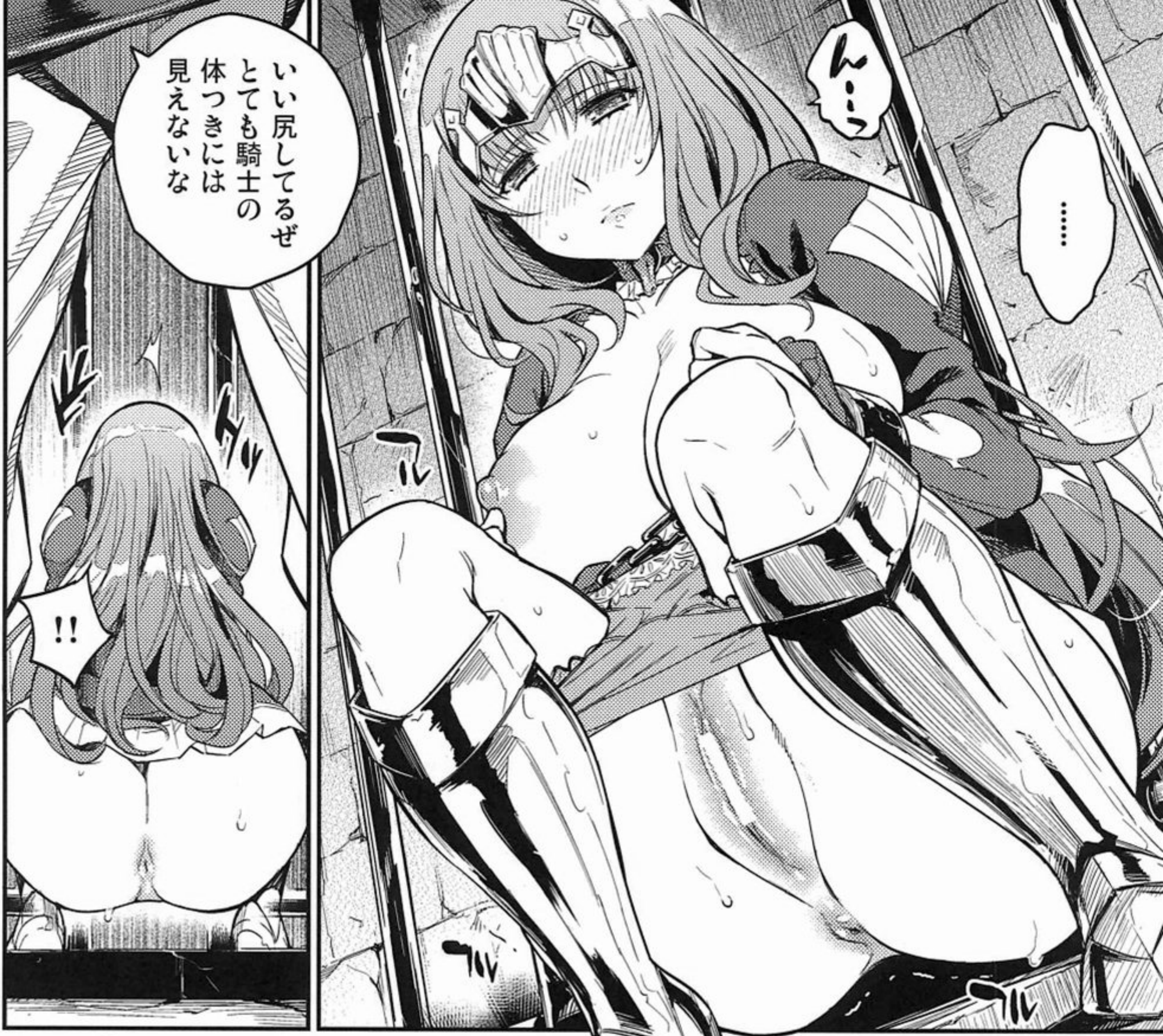


こんな場所で
いつまでも縛られている
ワケには！



...あの男が
寝てる隙に
済ませてしまおう...





いい尻してるぜ
とても騎士の
体つきには
見えないな

……



き きら…
見るな!

なに言ってる
お前の監視も
俺の役目だ



どうした
見られると
恥ずかしくて
出ないってか?

く…ッ
だったら
俺が出をよくしてやる

!!!



な何をして..
やめ..ツ

はっ..あッ

さ触るなッ!

そら遠慮なく出しな



っあ..

アア

アア



あああっ



ここでは恥を捨てることだ
アンネロツテ いいな？



ずいぶん溜まって
たようだな

湯気が立ってるぞ クク



...



それから

男による
調教という名の
陵辱が始まった！

無理矢理
男の臭いを
刷り込まれ

ことあるごとに
羞恥心を煽られ

何日も何日も

まるで玩具のように
私の身体を弄んだ





そうか:

だったら
これは何だ?

!?



っあ...

あはははは

こんなぐっちよぐちよに
股間湿らせておいて
...まだ拒む気なのか?

ち...違う...

何が違うんだ
下の口はヒクヒクと
答えてるぞ?

早く挿れて
くれってな

ああッ



あ…はう…っ

おいおい

まだ先端しか
啜えてないぞ

なんだ
もっと先まで
捻じ込んで
欲しいか？



…っ
や…やめ…

いい加減
自覚したらどうだ？

自分が
ただのマゾ女
だってことを

な

こんなに
尖らせるくらいだ
興奮しきりなんだろ



おっと



いまイキそうになっただな？





それとも
ずっとこのまま
焦らし続けられて
悶えたいのか？



満たされたいか？

だったら
言うべきこと
があるだろう



駄目だ
言っでは

……に
……くれ……



しかし……
これ以上……



もっと届く声で言うんだ

俺にどうして
欲しいのかをな



堪えることなど
私には……っ

奥まで……
入れて……くれ……ッ



っお……
奥……に……



ああ
よく聞えたぜ

どうだ
初めて貫かれた感想は？
コレをずっと
待ち望んでいたんだろ

!!

にしても
女騎士とは
思えないほどの
喘ぎ声だな

お前のいた
クローイツ
騎士団の連中にも
見せてやりたかったぜ

この痴態っぷりをな

なんだ
もうイッたのか？
堪え性のないヤツだ

ん？



ほら 立て

立って向こうまで 歩くんだ



あ...あっ...



まるで 産まれたての 山羊だな

どうやら
後ろから
責められる方が
お好みのようだな

さっきから
締め付けが
強くなってるぞ

おかげで
こっちも
イキそうだぜ

ああ そうだ
お前に
選ばせてやろう



このまま膣内に射精すか

それとも尻の穴か

どうした
答えないんなら
俺が決めるぞ?



…な…
膣内は…
…駄目だ…



…そうか
そいつは残念だ



躰が必要みたいだな

お前にはまだ

もっと
自分の欲情に
素直になれ
アンネロツテ

そうすればー

そして
身体も心も全て
俺に委ねるんだ



さらに
快感を得られるぞ

今以上にな

—それから
どれくらい
経ったのだろうか

幾度となく
男と交わり

蒸せた臭いと
熱い汚液を
全身に浴びせられた

身体の奥から
湧き上がってくる欲求に
逆らえなくなった私は！

やがて

わずかな躊躇いも

捨ててしまった

…これでようやく
俺の奴隷になったな

アンネロツテ





おらッ ブランウエン
もっと覇気出さねえか！
お客が盛り上がんねえ
だろォ〜！

ハッ
ハッ
ハッ



おっ
お前の
対戦相手が
お出ましたぜエ
さして
今日はどいつだ！

くっ…





ヒク アッ

あ：
あいつ！

アッ

アッ

アッ



イカせてほしいか?
だったらこの試合
勝ってくるんだ

う...う...

は

はま

そしたら
嫌というほど
この続きをしてやる



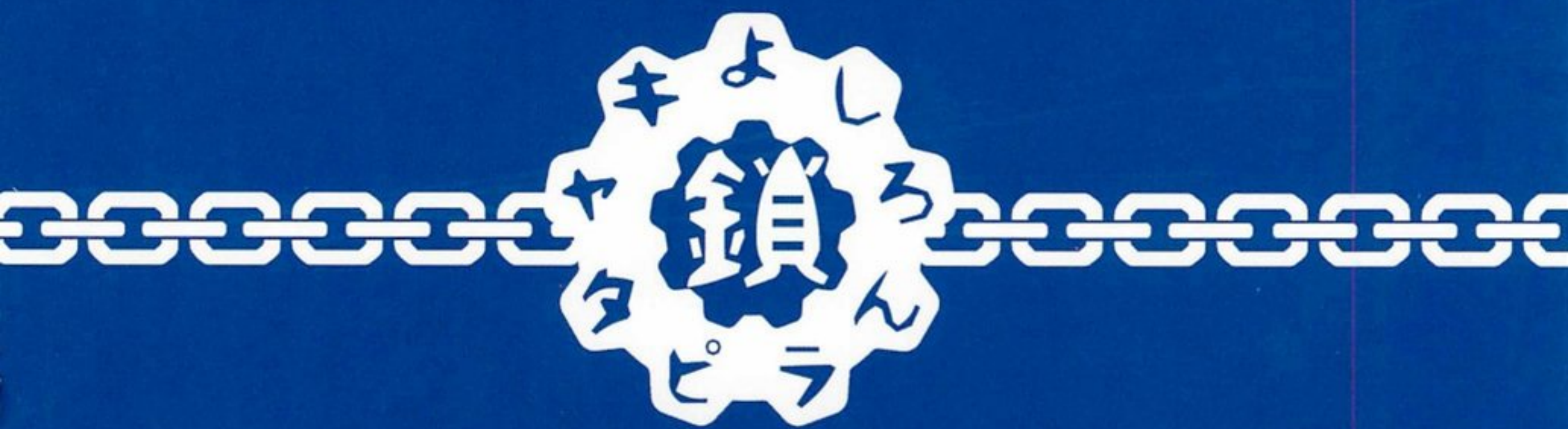
分かったな?

アンネロツテ

は...い...

【奴隷騎士】

- 発行日 2012/8/12
- 発行元 鎖キャタピラ(著:よしろん)
- HP <http://44ron.blog34.fc2.com/>
- MAIL zoldic@hotmail.co.jp
- 印刷 コーシン出版



2012 SUMMER